

鳥取県新型コロナウイルス感染症対策本部（第114回） 第84回鳥取市新型コロナウイルス感染症対策本部 合同会議

- 日時：令和4年1月4日（火）午後3時30分から
- 場所：鳥取県庁災害対策本部室（第2庁舎3階）
- 出席：知事、副知事、統轄監
新型コロナウイルス感染症対策本部事務局、危機管理局、総務部、福祉保健部
鳥取市長、鳥取市健康こども部長、鳥取市保健所長
（テレビ会議参加）
東部地域振興事務所、中部総合事務所、西部総合事務所、日野振興センター
鳥取市副市長、鳥取市関係部局長
鳥取大学医学部 景山教授（アドバイザー）
鳥取大学医学部 千酌教授（アドバイザー）
- 議題：
 - （1）症例報告について
 - （2）変異株（オミクロン株）の対応について
 - （3）その他

鳥取市コロナシグナルについて

鳥取市資料

鳥取市保健所管内で新規陽性者の確認に伴い鳥取市コロナシグナル**オン**に変更



鳥取市コロナシグナル

☆新規陽性者の確認を共有することで、鳥取県東部管内での新型コロナウイルス感染症の感染防止、感染拡大防止に努める。

シグナル	オフ	オン
東部で新規陽性者	なし	あり
市有施設	感染者が発症2日前以降に使用した施設は施設内の消毒が完了するまで休館とする。再開に当たっては施設職員のうち濃厚接触者の陰性が確認され感染のおそれのない運営環境を要件とする。	

※1 東部で新規陽性者確認された日の次の日から1週間新たに陽性者が確認されない場合オフにする。

※2 シグナルの変更については、陽性者の確認状況、行動歴などにより対応を変更する場合がある。

新型コロナウイルス感染症陽性者の概要(1月4日公表事例)

<鳥取市保健所管内>

【県内1672例目(鳥取市保健所管内763例目)】

年代：20代、性別：男性、居住地：県外、職業等：会社員、ワクチン接種状況：未接種

現在の症状：咽頭痛

経過等：1月1日 県外から帰省

1月2日 【発症日】発熱、頭痛

県内医療機関で抗原定性検査実施→陽性

1月3日 県衛生環境研究所でPCR検査実施→陽性

L452R変異株スクリーニング検査→陰性(デルタ株ではない)

1月4日 感染症指定医療機関に入院

国外・県外移動歴(発症日前14日間)：国外なし、県外あり

接触者等の状況等(令和4年1月4日正午時点)

1月1日帰省後の接触者は特定されている

→濃厚接触者 4名、その他接触者 0名

濃厚接触者には県が宿泊療養施設で確保している宿泊施設での待機を要請

【県内1673例目(鳥取市保健所管内764例目)】

年代：60代、性別：女性、居住地：鳥取市、職業等：非公表、ワクチン接種状況：2回接種

現在の症状：咽頭痛

経過等：1月1～2日 県内1672例目と接触

1月3日 【発症日】咽頭痛

県内1672例目の濃厚接触者として県衛生環境研究所でPCR検査実施→陽性

L452R変異株スクリーニング検査→陰性(デルタ株ではない)

1月4日 感染症指定医療機関に入院

国外・県外移動歴(発症日前14日間)：国外なし、県外なし

接触者等の状況(令和4年1月4日正午時点)

発症日(1月3日)2日前以降の接触者は特定されている

→濃厚接触者 3名、その他接触者 5名

濃厚接触者には県が宿泊療養施設で確保している宿泊施設での待機を要請

新型コロナウイルス感染症陽性者の概要(1月4日公表事例)

<県設置保健所管内>

【県内1674例目】(管轄:米子保健所)

年代:30代、性別:女性、居住地:米子市、職業等:会社員、ワクチン接種状況:2回接種

現在の症状:発熱(38.8℃)、時々咳、倦怠感、関節痛

経過等:1月2日 【発症日】倦怠感、咳、発熱(37.9℃)

1月3日 県内医療機関でPCR検査実施→陽性

1月4日 感染症指定医療機関に入院

L452R変異株スクリーニング検査予定

国外・県外移動歴:国外なし、県外あり(仕事)

接触者等の状況(令和4年1月4日正午時点)

発症日2日前以降の接触者は特定されている

→濃厚接触者 10名、その他接触者 なし

【県内1675例目】(管轄:米子保健所)

年代:30代、性別:女性、居住地:非公表、職業等:会社員、ワクチン接種状況:2回接種

現在の症状:無症状

経過等:1月3日 県内1674例目の濃厚接触者として県委託検査機関でPCR検査実施→陽性

1月4日 感染症指定医療機関に入院

L452R変異株スクリーニング検査→陰性(デルタ株ではない)

国外・県外移動歴:国外なし、県外なし

接触者等の状況(令和4年1月4日正午時点)

検体採取日(1月3日)2日前以降の接触者は特定されている


→濃厚接触者 8名、その他接触者 なし

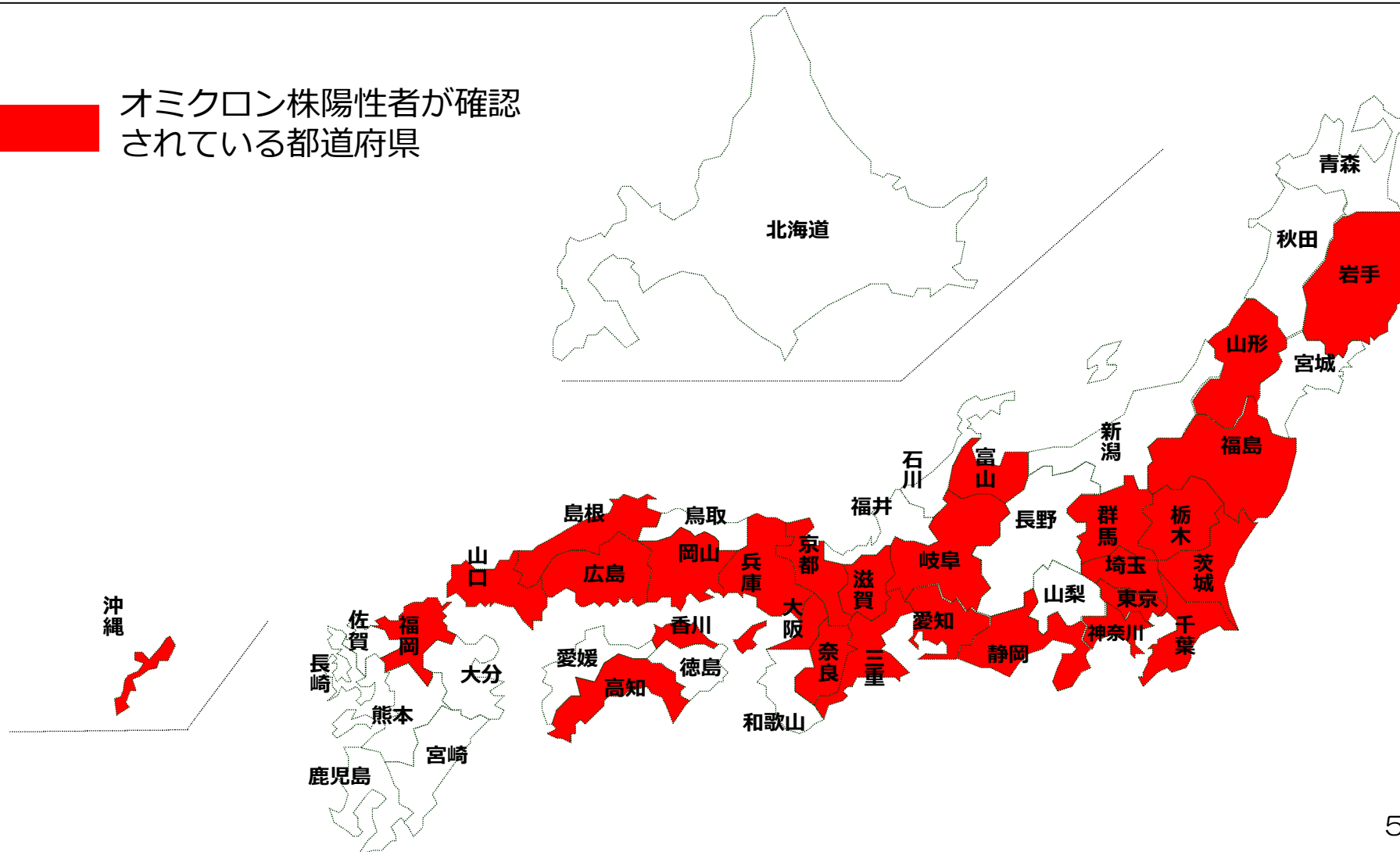
濃厚接触者には県が宿泊療養施設として確保している宿泊施設での待機を要請

オミクロン株陽性者の確認状況

28都道府県・391件確認 (厚生労働省発表(R4.1.4時点))

⇒ 全国各地で相次いで感染が確認されています

 オミクロン株陽性者が確認されている都道府県



本県のオミクロン株に対する対応

1. 陽性者への対応

- **新型コロナウイルス陽性者は原則全員入院**（【鳥取方式】オミクロン株か否かを問わず）
- 2回連続PCR検査陰性を確認した後、退院

2. 接触者等への対応

- **接触者は幅広く検査を実施→鳥取方式を徹底**
- 接触の状況に応じて幅広く宿泊療養施設での待機を要請
健康観察と定期的なPCR検査を実施

➡感染拡大状況を見て鳥取方式+ α へ移行

⇒メディカルチェックセンターで病状を評価し、保健所長が療養先を選定

<体制強化>

- ◎ **メディカルチェックセンターの追加確保を検討**（現在7医療機関）
- ◎ **宿泊療養施設の追加確保に向けて調整**（現在364室）
⇒ **濃厚接触者の待機施設として利用**

岸田総理 年始発言

令和4年 年頭所感

- 今また、**感染力が極めて高いと言われるオミクロン株という新たな変異株の脅威に直面している。**
- **「最悪を想定し、慎重にも慎重を期す。」という危機管理の要諦を踏まえ、対応していく。**
- G7でも最も厳しい水際措置によって得られた時間的猶予を活かして、**「予防・検査・早期治療」という一連の流れを更に強化し、社会全体として、新型コロナナのリスクを引き下げていく。**
- これまで強化してきた**医療提供体制のフル稼働**。医療従事者・高齢者を対象とした、**3回目のワクチン接種の前倒し**。感染拡大が懸念される地域での、**無料検査の実施**。**飲める治療薬の普及**。必要な措置を、機動的に講じていく。

産経新聞 年始インタビュー

- **ワクチンで予防し、検査で実態を把握して、飲み薬で早期に治療する。この3つを強固に結びつける体制づくりが大事。**
- **オミクロン株がどのくらい高い波をもたらすのか、準備した体制が機能するのか、緊張感を持って対応する。**

特措法第24条第9項による協力要請

県内でもオミクロン株疑いの感染事例が確認されました
感染不安がある県民の方及び県内に帰省された方はぜひ検査をお受けください

- **区 域** 鳥取県全域
- **期 間** 令和3年12月31日から
令和4年 1月31日まで
- **対 象** 無症状の県民及び鳥取県への帰省者
- **要請内容** 感染不安を感じられる方は検査をお受けください
(ワクチン接種・未接種を問わない)
- **検査費用** 無料

次の皆さんは積極的に検査を受けてください

- ・感染拡大地域に行かれた方
- ・感染拡大地域の方と過ごされた方
- ・普段会わない人と食事をしたり、長時間過ごした方

特措法第24条第9項は、新型コロナの感染拡大を抑え込むために、皆様に協力をお願いする制度です。

無料検査可能な検査場所 ※検査場所の詳細は県HPをご覧ください

県内24か所の無料検査場所(薬局・衛生検査所等)をご利用ください

東部圏域・・・ 9ヶ所 [PCRのみ]3カ所、[PCR+抗原]6カ所

中部圏域・・・10ヶ所 [PCRのみ]8カ所、[PCR+抗原]2カ所

西部圏域・・・ 5ヶ所 [PCRのみ]1カ所、[PCR+抗原]3カ所、[抗原のみ]1カ所

※検査場所は随時、拡大していく予定(現在、事業者募集中)

緊急対応の無料臨時PCR検査センターの開設

臨時PCR検査センターの開設期間を拡大します

実施期間

1月 5日(水)
~~1月 8日(土)~~ ~1月10日(月祝) 10時~15時
※事前申込受付時間：1/4~1/10の10時から15時



対象者

無症状で感染不安を感じる県民及び鳥取県への帰省者
(ワクチン接種・未接種を問わない)

設置場所

東部：県東部庁舎（鳥取市立川町6丁目176） ☎0857-20-3736
中部：県中部総合事務所（倉吉市東巖城町2） ☎0858-23-3983
西部：県西部総合事務所（米子市糀町1丁目160） ☎0859-31-9745

留意事項

- 必ず事前に上記窓口に電話で予約の上、検査をお受けください。
- 検査を受ける30分前から飲食、喫煙、うがい、歯磨きは行わないようにしてください。
- 検査結果判明は、検体採取日の翌日となります。なお、検査結果は検査機関(RO)からメールで通知されます。

オミクロン株感染拡大に備え、ワクチン追加接種前倒しを加速化

●医療従事者、高齢者施設等の前倒し

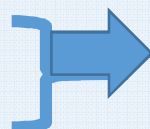
- 病院、入院患者の前倒し希望を県が把握次第、速やかに市町村と病院を仲介し可能な限り前倒し

<1/4時点>

2病院が、12月中に前倒し実施

12病院が、1月中の前倒し希望

10病院が、入院患者の前倒し希望



速やかに市町村と仲介するとともに、前倒し意向のある病院がさらにはないか働きかけ

- 高齢者施設等の入所者をはじめとする前倒し対象者の速やかな接種券発行について市町村間の認識共有を図り、事務処理を円滑化
- ワクチン過不足の市町村間の融通等を実施

※12/28にモデルナワクチン75バイアルが国から県に納入。希望をとり、2市町が高齢者施設、医療従事者の前倒しに活用

●施設入所者等以外の一般高齢者の前倒し

- 「高齢者施設等入所者等について一定の完了が見込まれた段階で2月を待たずにその他の高齢者の前倒しが可能」という見解を国が示したことから、市町村とこの見解を共有し、可能な限り前倒しを推進

オミクロン対策のためワクチン接種のご検討を!!

- ワクチンはオミクロン株にも有効です。
- ファイザー、モデルナのいずれのワクチンも高い効果があります。ファイザー+ファイザー+モデルナの組み合わせがより効果が高いという治験もあります。
また、モデルナの副反応は、ほとんどが軽症で、安全性に問題はありません。
- ワクチンの種類を待つよりも、積極的な早期接種をご検討ください。

県営ワクチン接種センターを、1月も県内3箇所開設します！

エリア	東部	中部	西部
会場	新日本海新聞社	倉吉シティホテル	西部総合事務所
期日	1月15日(土)	1月16日(日)	1月22日(土)
予約方法	ウェブからお申し込みください		

全会場、予約なし枠・優先枠あります！

市町村の接種体制

- 集団接種会場を実施（鳥取市、米子市）
- 個別接種も継続実施中

医療機関の検索は

厚労省 コロナワクチンナビ



ワクチン接種でご自分やまわりの方を守りましょう！

治療薬の配備

中和抗体薬

- 中和抗体薬のオミクロン株への有効性を入院医療機関へ周知
⇒ソトロビマブはオミクロン株にも有効性が保たれている
- 11医療機関がソトロビマブを配備済（2022/1/4現在）

経口抗ウイルス薬(モルヌピラビル)

- 全入院医療機関に配備予定（7医療機関が配備済（2022/1/4現在））
- 在宅又は宿泊療養者へ投与できる体制も整備
⇒県薬剤師会と連携し、院外処方対応可能な薬局をリストアップ済（81薬局）
⇒臨時の医療施設と連携し、院外処方対応する薬局を選定中

オミクロン株疑い発生を踏まえた保健所応援体制の整備等

✓オミクロン株に備えた職員の応援体制を確保

- ・ 県営臨時無料PCR検査センター（3ヶ所）の運営体制を確保
- ・ 宿泊療養施設の拡充に備えた運営体制（5施設運営できる体制）を確保（現在2施設稼働中）
- ・ 宿泊療養・在宅療養に重点を置いた体制検討に合わせ、**宿泊療養施設の増設や在宅療養者への支援増を見据えた職員応援体制の拡充を検討中**

✓保健所応援を即時対応可能な体制整備

- ・ 第5波で保健所業務を経験した中堅職員等約20名を保健所業務応援職員に任命し、緊急時に即応できる体制を整備済
- ・ 保健所バックアップのための本庁保健師採用のための追加募集を実施済（4名採用予定・前倒し採用については調整中）
- ・ 応援派遣の市町村保健師やOB保健師に研修を受講していただき保健所業務にスムーズに対応（講師：鳥取大学医学部 景山教授等、今年度中に4回実施予定（3回実施済））

※市町村の協力により派遣いただいている保健師には、第5波中から積極的疫学調査の一部を担っていただいております、今後も継続する。

毎日総勢50名の職員応援体制及びクラスター対策特命チームの支援体制の継続及び予防的BCPの発動により、再び感染が急拡大した場合にも保健所応援の即時対応が可能な体制を継続するとともに、状況に応じて保健所等応援体制をさらに拡充(50名+α)

県外との往来ではオミクロン株に十分注意！

県外との往来によるオミクロン株の感染が全国で拡大しています
帰省や旅行などの県外との往来は慎重に検討していただくとともに、
往来の際は、基本的な感染対策の徹底をお願いします

【県外との往来の際のお願い】

◇基本的な感染対策の徹底

マスクはすき間なく正しく着用、十分な距離が取れないときはマスクを着用、
混雑した場所や感染リスクの高い場所を避ける

◇体調が悪い時は、無理せず県外との往来は避ける

◇行かれる先の自治体が出されている新型コロナ情報の確認を

【県外から来県・帰県される方へのお願い、一緒に過ごす際のお願い】

◇来県前には事前にPCR等検査を受けましょう

◇家庭内での感染対策の徹底

「親しき仲にもマスクあり」、こまめな手洗い、こまめな換気、ドアノブなどの
共用部分の消毒、タオルや歯磨き粉・食べ物や食器などの共用を避ける、家庭内
で対策が難しい場合は宿泊施設利用も検討

◇発熱、倦怠感などの症状があれば、積極的に受診又は受診相談センターに相談を₁₄

家庭内でもオミクロン株に注意して感染対策の徹底を

感染力の強いオミクロン株に注意が必要！家庭内など親しい間柄の油断・気の緩みをウイルスが狙っています。家庭内でも感染対策の徹底をお願いします。

家庭内にウイルスを持ち込まない

○家に帰ったら「**まずは手洗い**」



家族間で感染しない

○「**親しき仲にもマスクあり**」

十分な距離が取れない時は家庭内でもマスクを着けましょう



○こまめな**換気の徹底**を

窓とドアなど2カ所を開けて30分に1回以上、1回5分間の換気を

○よく手の触れる場所や共用部分の**こまめな消毒**(ドアノブ・手すり・スイッチ等)

共用部分は薄めた漂白剤で拭いた後に水拭きするかアルコール消毒を

○歯磨き時は**飛沫が飛びやすいので十分に注意**を

歯磨きをしている人と距離を取る、換気のいい場所で行う、歯磨粉などを共用しない

○**タオルは個別で使用**し、食べ物や食器の共用を避ける



家族に体調不良者がいる場合

○トイレ、バスルームなど**共用スペースの利用は最小限**にしましょう

○換気しやすい部屋とし、**他の家族と部屋を分けましょう**(食事も家族と別の部屋で行いましょう)

会食の際はオミクロン対策の徹底を！

マナーを守り、お店の感染対策の呼びかけに協力をお願いします

【入店前のポイント】

- ◇**体調が悪い時は、会食を控えましょう**
- ◇**感染対策が徹底した「認証店」をおすすめします**



【食事する時のポイント】

- ◇**会話の際はマスクを着用しましょう**
- ◇**どんなに楽しくても大声は控えましょう**
- ◇**大皿を避け個食を徹底、箸やグラスも共用は控えましょう**
- ◇**食事の前後など、こまめに手洗いしましょう**
- ◇**飲食店の呼びかけに協力を**

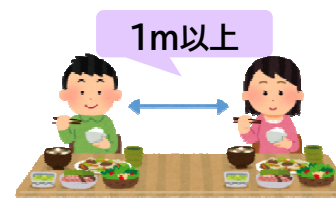


飲食店のオミクロン対策の徹底が必要です！

県内でオミクロン株疑いの感染事例が確認されました
これまで以上に感染防止対策の徹底をお願いします

◆従業員全員で飲食店向けガイドラインの徹底をお願いします

- ・換気扇の常時稼働、定期的な窓開放による**換気の徹底**
- ・パーティション、斜め掛け等による**フィジカルディスタンスの確保**
- ・従業員の**体調管理の徹底**



◆お客様にも対策を守ってもらうよう呼びかけをお願いします

- ・パーティションを外したり、**座席の間隔を狭めない**
- ・手指消毒、**会話時のマスク着用**の徹底
- ・大声を出さず、お酌や乾杯を控え、**大騒ぎはNG**



正しいマスクの着用方法について

○ マスクは**すき間が出来ないように顔にフィット**させる

○ マスクを着用していても、**会話は短時間で、大声は避ける**



○ 感染リスクの比較的高い場面では、できればフィルター性能の高い**不織布マスクの利用**を

※布やウレタン素材よりも不織布の方が効果が高いことが示されています。

【市販マスクの性能(実測値)】※坪倉誠教授(理化学研究所/神戸大学作成資料を基に鳥取県作成

	なし	ウレタン	布マスク (フィルター無)	不織布マスク	
				ルーズ	フィット
吐き出し時	100%	48%	28%	24%	18%
吸い込み時	100%	82%	70%	45%	25%

※マスク無しを100%とした時、飛沫が漏れる割合を表したものの。割合が低い方が飛沫の捕集率が高く、効果が高い。

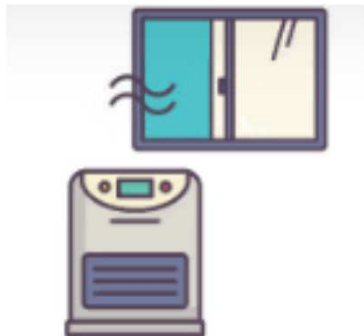
冬場の換気を忘れずに

冬は窓を開ける機会が減り、エアロゾル(マイクロ飛沫)感染の危険性が高まります。

換気の徹底をお願いします。

【基本的な換気の主なポイント】

- 空気の流れを意識して二方向の窓を全開
(30分に1回以上、1回5分間)
- 対角線の窓を開けるとより効果的
- 換気扇や扇風機の併用も効果的
- 二酸化炭素濃度測定器の利用も有効
(1,000ppmを超えていないか確認)



寒い時に室内温度の低下を抑える工夫

- ・暖房器具の近くの窓を開ける
- ・窓を一カ所、少しだけ開けて常時換気することも有効
- ・隣接する別の部屋に空気を入れ、少し暖まった空気を部屋に取り込む「二段階換気」も有効

体調悪ければ無理をしないで！

岸田総理発言(R3.12.24)

風邪の症状などがある場合、少しでも具合の悪い場合には、外出を控え、医療機関での受診・検査、強くお勧めいたします。

発熱、せきなどの風邪症状はコロナ感染の重要なサイン!!
オミクロン株では強い倦怠感があるという情報もあります。

コロナ感染症は初期の治療が大変重要です
遅くなれば命に関わるかもしれません

少しでも症状がある場合は、無理に登校・出勤をせず、
かかりつけ医、又は受診相談センターに相談しましょう

職場も出勤前の体調確認、症状がある場合の
出勤自粛など、従業員への呼びかけを

コロナ感染を見逃さないためのお願いです



発熱等の症状が
出たときの相談先

受診相談センター

☎ 0120-567-492 コロナ・至急に 毎日9:00~17:15

(ファクシミリ) 0857-50-1033

(東部地区) ☎ 0857-22-8111 上記以外の時間

(中部地区) ☎ 0858-23-3135

(西部地区) ☎ 0859-31-0029

休日を含め
24時間対応

オミクロン株感染対策5カ条

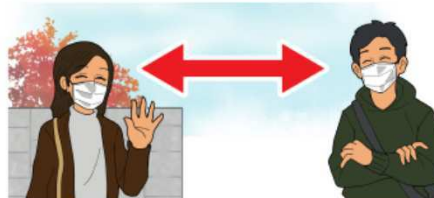
みんなでオミクロン株を予防し あなた自身と大切な人を守ろう

感染対策5カ条

- ① ワクチン接種後もマスク、
手洗い、換気を徹底



- ② 屋外でも人との距離を十分に
長時間・大人数の飲食など注意



- ③ 体調が悪ければ無理な登校や出勤、
他地域との往来は避けて



- ④ 飲食の際、大皿・共用箸・大騒ぎ・
大声は控えて会話はマスクを



- ⑤ 帰省時など県外との往来の際は
特にご注意を



ワクチン接種はオミクロン株の
対策に有効です！

モデルナ社製のワクチン接種でも、発症
や重症化を防ぐ効果があります。副反応
は、ほとんどが軽症であり、安全性に問
題はありません。

「調子が悪い」「心配」ならお電話を

発熱・頭やのどの痛みなど少しでも違和感がある場合や倦怠感がある場合は、かかりつけ医または「**受診相談センター**」にご相談ください。

受診相談
センター

☎0120-567-492

9:00～17:15（※12月29日～1月3日を除く）

Fax 0857-50-1033

● 東部地区 / ☎0857-22-8111（鳥取市保健所内）

● 中部地区 / ☎0858-23-3135（倉吉保健所内）

● 西部地区 / ☎0859-31-0029（米子保健所内）

【聴覚や発話の障がい等により音声通話が困難な方】
鳥取県新型コロナウイルス感染症特設サイト内の相談フォームより
ご相談ください。

鳥取県

とりネット 新型コロナ特設サイト



人権配慮に係る県民へのメッセージ

感染者や関係先に対する、心ない言動や誹謗中傷、詮索などの行為は、絶対にしないようにしましょう。

感染者自身のほか、関係先や立ち寄り先などに対する誹謗中傷や、不確かな情報を基にした情報の発信・拡散や詮索などの不当な行為は、人権を侵害する行為です。このような行為は絶対に行わず、地域全体で感染者等を温かく包み込むように支えましょう。

本県では、インターネットによる誹謗中傷等のサーベイランスを行っています。

確認された誹謗中傷等の画像や文章は、保存し、被害者の訴訟時の証拠として本人の求めに応じて提供します。また、県と弁護士会、県警、法務局の4者連携による「新型コロナ関連誹謗中傷等に関する相談支援連絡会」で事例発生時等に支援を行います。

ワクチン接種をしていない方に対する、差別的行為は絶対にしないようにしましょう。

ワクチン接種をしていない方への差別的行為も人権を侵害する行為です。ワクチン接種は本人の意思に基づくものであり、病気など様々な理由でワクチン接種をできない方もいらっしゃいます。接種の強制はしないようにしましょう。



Citrus Ribbon
PROJECT

私たちはウイルスと闘っています。皆が思いやりの気持ちを持ち、お互い「ただいま」「おかえり」と笑顔で言い合える人の輪を「地域」「家庭」「職場・学校」に広げていきましょう。